

農 福  
×  
連 携

## 有限会社永源寺マルベリー

(東近江市永源寺)

### 〇永源寺マルベリーってどんなところ？

「永源寺マルベリー」は、過疎化が進む永源寺地域の振興のため、吉澤社長が中心となって平成16年に立ち上げられました。当初は健康食品の原料としての桑の栽培が主でしたが、現在ではアシタバ、モリンガなど約10種類の作物を約10haの畑で栽培されています。

地域の高齢者、障害者、外国の方がともに働いておられ、誰もが参加できる「ユニバーサル農業」の実現を目指しておられます。また、近年は「産・学・官」連携にも取り組まれるなど、地域の活性化に貢献されています。



代表取締役 吉澤 克美 さん

### 〇農福連携のきっかけや取組の概要

「永源寺マルベリー」では、作物を無農薬・無化学肥料で栽培されており、手作業での除草など人の手による作業が多く、人材の確保が課題となっていました。そこで、以前から関心のあった農福連携で障害のある方に作業をしていただけないかと、県を通じて「社会福祉法人大樹会」の紹介を受けたことが取組のきっかけだそうです。「大樹会」の施設長や職員の方と相談しながら作業の内容や進め方を決めていき、現在は、機械ではできない畑の除草や肥料の散布などを年間を通じて依頼されています。



訓練生の方（障害のある方）は午後1時から午後4時半の3時間半、作業をされています。取材日は福祉事業所の支援員の方1名、訓練生の方3名の計4名で高齢者の方と一緒に、ヨモギ畑の除草をされていました。作業を始めた当初は、ヨモギと雑草の区別が難しく、誤ってヨモギを取ってしまわないよう、支援員の方が訓練生の方に、ヨモギと雑草それぞれの見本を示してこまめに声掛けをされたそうですが、取材時には、正確に見分け、集中して作業に取り組まれていました。



## ○心掛けていること・工夫していること

「永源寺マルベリー」では訓練生の方には直接指示を行わず、その日に行う作業内容を福祉事業所の支援員の方を通じて訓練生の方に伝えられます。訓練生の方がいろいろな方から指示を受けて混乱してしまわないよう、工夫されていました。

また、訓練生の方が、高齢者の方や外国の方と分け隔てなく同じ待遇で仕事に取り組む体制を作られています。休憩時には、訓練生の方と高齢者の方、社員の方みんなが一緒になってお茶やお菓子を楽しみながら、和やかな雰囲気でお話しされていました。高齢者の方は、「孫と同じぐらいの歳の子で、みんなかわいいわ。」と訓練生の方々の印象をお話しくれました。

## ○永源寺マルベリー設立当初からのメンバーの思い

今年で91歳になられる門阪空平さんは、吉澤社長から「一緒に桑の栽培で地域を盛り上げよう！」と誘われ、以来17年間、ともに歩んでこられました。

最初は不安もあったそうですが、今回の取材の際には、「こうして畑の規模を拡大し、郷土の土地を守っていけることに喜びを感じています。今後も、命ある限り頑張っていきたいと思っています！」とおっしゃっていました。



県内の農福連携の取組を  
動画でご覧いただけます！！



滋賀の農福

検索

## ○福祉事業所の支援員の方と訓練生の方へのインタビュー

「社会福祉法人大樹会湯屋の里」(就労継続支援A型)は、4年ほど前から「永源寺マルベリー」の作業を受託されています。

支援員の河崎さんは、「農作業は福祉施設内でも行っていましたが、施設外の方との関わりがありませんでした。「永源寺マルベリー」さんの仕事を受託するようになってから、訓練生の方々は、多様な方と接することで、施設内では体験できないことを学んでいます。」とおっしゃっていました。



訓練生の佐藤さんは、「いろいろな方との交流を深められるいい機会だと思っています。このような施設外での仕事を続けていき、地域の方々と会話やあいさつができる関係でいたいと思います。」と、「永源寺マルベリー」での仕事への思いを語ってくださいました。

## データ DATA

【組織名】 有限会社永源寺マルベリー

【所在地】 東近江市永源寺高野町 201

【連絡先】 TEL：0748-27-0772

【 HP 】 <https://eigenji-mulberry.com>

発行：滋賀県農政水産部農業経営課  
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1  
TEL:077-528-3831  
E-mail:noufuku@pref.shiga.lg.jp